

2 評価基準
(1) 評価項目・配点

評価項目			評価のポイント	配点		
大区分	中区分	小区分				
応募者の概要		介護保険事業の実施状況	運営するすべての介護サービスについて、次のいずれにも該当し、かつ、下記のサービス(介護予防を含む。)のうち、いずれかを現在提供している者 ①平成26年度以降に、介護保険法に基づく行政処分を受けたことがない。 ②平成26年度以降に、介護保険法に基づく改善勧告を受けたことがない。 ③広島市内に所在する事業所において平成28年度以降に、本市から介護保険法に基づく同様の指導を2回以上受けたことがない。 ④平成26年度以降に、運営している介護保険サービスに関し、介護保険事業の適正な運営に影響を及ぼすような他法令違反を指摘されたことがないか、又は、指摘された事項をすでに是正している。 特定施設入居者生活介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、看護小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、介護予防支援	5	5	
			事業所の運営方針	介護保険法等の関係法令に基づき事業所を運営するものになっているか。	5	
事業所運営	事業所運営の基本方針	地域との連携	基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。	5	85*	
			利用者が地域行事に参加したり、地域の人を事業所の行事に招いたりする等、地域との相互交流について、どのような事業を、どの程度実施する計画か。	5		
			地域に対して、地域の人材(地域のボランティア、協同労働など)の活用のためにどのような働きかけを行うか。また、その地域の人材をどのように活用するか。			
			地域住民を対象とした認知症介護に係る研修会や介護相談等を実施する予定はあるか。実施する場合は、その方法、内容及び頻度はどうか。			
	利用者の家族との連携	家族会の設置の有無とその運営の在り方はどうか。また、家族会の事業以外に、家族との交流の機会を確保するために、どのような取組をどの程度行うか。	5			
		家族への情報提供の方法と、運営に関する意見の反映方法はどうか。				
	事業所管理運営	管理者予定者・職員配置・職員研修・人材育成・定着等	運営母体(法人代表者(予定者))	設置運営事業者募集に応募した動機が明確かつ適切であるか。		5
			基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。	5		
			管理者予定者は相当の福祉経験を有しているか。自らの役割と責任を認識し、かつ認知症高齢者の介護について、十分な経験を有した人物か。	10		
			職員配置について、基準を上回る数の職員や専門職の配置が計画されているか。			
適切な研修の機会を確保するよう計画されているか。			5			
質の高い中核的人材の育成・定着のための具体的な取組が計画されているか。			5			
働きやすい環境づくりを行うよう計画されているか。						
利用者処遇	利用者等の苦情処理体制・個人情報の保護・事故や災害の対策	利用者からの苦情に対して適切な対応が取れるとともに、個人情報の保護や介護サービス情報の公表などが適切に行える態勢が整備されているか。	5			
		事故や災害の対策について、基準に沿って具体的な取組が考えられたものとなっているか。				
	栄養・衛生管理・協力医療機関	栄養管理や水分摂取に配慮した具体的な取組が計画されているか。	5			
		食中毒予防や感染症対策について適切なマニュアルが整備されるとともに、基準に沿った具体的な取組が考えられたものとなっているか。				
	サービスの質の確保	協力医療機関について、適切な立地であるか。また、歯科医院との連携はあるか。	5			
		基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。				
		利用者に対し、適切なサービスを提供することになっているか。				
		個別ケアを実現するための具体的な取組が計画されているか。				
		中重度利用者に対する具体的な取組が計画されているか。				
		より質の高いケアを行うために新しい技術を導入した取組が計画されているか。				
認知症高齢者に対し、より手厚いケアを行うための体制や、医療との連携は十分か。	5					
食費、光熱水費、宿泊費の価格設定は適当か。また、敷金等の前払金がないか。						
経営の安定性	法人経営の安定性	経営状況が良好であり、当該事業所の設置運営に支障がないか。	5	5		
	事業所の所有関係	開設予定地及び事業所の建物は自己所有か。また、賃借の場合、契約期間は何年か。				
開設予定地	道路・交通	利便性の良い場所に位置しているか。	10	10		
	周辺状況	地域との交流の促進が期待できる場所に位置しているか。				
	面積・日照等	周辺の建物等により事業所への日照・風通しが著しく妨げられるようなことがないか。				
整備建物	建物の特質	事業所の建物により周辺に日陰・風通しの問題が生ずることがなく、地域に根ざす施設としてふさわしいものとなっているか。	5	35		
		安全・健康面等への配慮	基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。		5	
	ユニット	利用者の安全・快適な生活に配慮した施設になっているか。	5			
		基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。	5			
	水回り空間	より在宅に近い居住環境を確保できるような配置等になっているか。	5			
		基本方針と取組が合致し、特色ある独自の取組があるか。	5			
		利用者の生活のリズムに沿った排泄・入浴等が可能な設備の数、配置等になっているか。	5			
計				140*		

※ 評価得点が140点満点中6割以上かつ大区分「事業所運営」に係る評価得点が配点の6割以上であること

(2) 加点項目・加点

評価項目	評価のポイント	加点
未選定圏域への整備	鞆町、国泰寺、福木・温品、大州、宇品・似島、安佐・安佐南、祇園・長東、口田、瀬野川(中野東小学校区を除く)・船越、湯来・砂谷のいずれかの圏域に整備する事業計画か。	10
看護小規模多機能型居宅介護事業所との併設	看護小規模多機能型居宅介護事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所がいずれも未整備の圏域で併設するか。	10
小規模多機能型居宅介護事業所との併設	看護小規模多機能型居宅介護事業所及び小規模多機能型居宅介護事業所がいずれも未整備の圏域で併設するか。	5
認知症対応型通所介護事業所との併設	認知症対応型通所介護事業所が未整備の圏域で併設するか。	5
若年性認知症利用者専用ユニットの設置	若年性認知症の利用者専用④ユニットを設置する。	10

3 評価の視点

評価項目			視 点		
大区分	中区分	小区分			
事業所運営	事業所運営の基本方針	事業所の運営方針	運営方針	地域密着型サービスの事業の一般原則を十分認識した運営方針を定めている	
				利用者本位のサービスを提供するため、職員が守るべき倫理を明文化し、職員に徹底するための具体的な取組がある	
				運営基準を理解し、法令遵守を意識したサービスが提供できるよう職員に徹底するための具体的な取組がある	
				職員全員が年1回以上自己評価に参加し、提供しているサービスを見直すための具体的な取組がある	
				外部評価を受け、明確となった課題及びその解決策を職員全員が共有し、業務改善を進めるための具体的な取組がある	
		地域との連携	基本方針及び独自の取組	地域との連携に関して適切な基本方針が設定され、その基本方針に基づく独自の取組がある	
				地域との相互交流	利用者が地域行事に参加したり、地域の人を事業所行事に招いたりする等地域との相互交流が活発に行われる具体的な取組がある 季節や行事ごとに広報紙を作成し、地域に配付する
			地域人材の活用	地域の人材(地域のボランティア、協同労働など)を受け入れるための具体的な取組がある	
			地域住民を対象とした介護相談等の実施	地域住民を対象とした認知症介護に係る研修会や介護相談等の具体的な取組がある	
		利用者の家族との連携	家族との交流の機会の確保	家族会を設置する	
				利用者の一時帰宅の支援をどのように行うのか、具体的な取組がある	
				家族が来所しやすくなるような具体的な取組がある	
	3台以上、グループホーム用の来客用駐車場がある				
	来客の宿泊にも利用できる来客専用のスペースを設けている				
	家族への情報提供と意見の反映	広報紙・写真・お便りの送付、ホームページの活用など、積極的に実施する 利用者や家族が事業所へ意見や提案を行える機会を設け、それらを運営に反映することとしている			
	事業所管理運営	運営母体(法人代表者(予定者))	法人代表者(予定者)	設置運営事業者募集に応募した明確な動機がある	
				管理者予定者・職員配置・職員研修・人材育成・定着等	基本方針及び独自の取組
		利用者処遇	利用者等の苦情処理体制・個人情報の保護・事故や災害の対策	苦情処理体制	具体的な苦情解決の仕組みを設ける
					苦情や要望をもとに、サービスを改善するための具体的な取組がある
				個人情報保護	個人情報保護のためのガイドラインを作成する
利用者や家族から過去のサービス提供実績についての情報開示請求があった場合について、必要な手続きを定めるとともに、その仕組みについて、利用者や家族に説明する					
事故発生時の対応				事故発生時の対応マニュアルを整備する	
				会議等で定期的に事例やヒヤリハットについて協議し、事故の再発防止のための独自の取組を行う	
災害発生時の対応				各種自然災害(土砂災害、大規模地震等)発生時の対応を定めたマニュアルを整備する	
				非常災害時に地域住民からの支援が受けられるよう、地域住民等との連携、協力関係構築を行うための具体的な取組がある	
				非常災害時に地域の要介護者の避難の受け入れを行う	
				年1回以上、事業所の立地状況に応じた地震・風水など自然災害に対する避難訓練を実施する	
	夜間など職員の数が少ない場合を想定した訓練を実施する				
	非常用飲料水や医薬品、トイレ用品、携帯ラジオなどを事業所内に備蓄又は準備する				
栄養・衛生管理・協力医療機関	栄養管理	療養の特性や健康の維持に配慮した食事・栄養管理の具体的な取組がある			
		療養の特性や熱中症予防に配慮した水分摂取の具体的な取組がある			
		「栄養スクリーニング加算」を算定する予定としている			
	衛生管理	衛生管理について具体的な取組がある			
		食中毒予防のマニュアルを整備する 施設内におけるインフルエンザなどの感染症対策のマニュアルを整備する			
	協力医療機関	協力医療機関との距離が近い(道のりで5km以内)			
高齢者がり患しやすい疾病への対応として、眼科や皮膚科などを含む複数の診療科と連携する(歯科は除く) 歯科医院と連携する					

	サービスの質の確保	基本方針及び独自の取組	サービスの質の確保に関して適切な基本方針が設定され、その基本方針に基づく独自の取組がある	
		利用者の尊厳に配慮するなどした適切なサービスの提供	<p>身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わないための具体的な取組がある</p> <p>利用者の虐待防止のための具体的な取組がある</p> <p>入居申込者が家族による入居契約締結の代理や援助が必要であると認められながら、これらが期待できない場合については、市とも連携し、成年後見制度や権利擁護に関する事業等の活用を可能な限り図るための具体的な取組がある</p> <p>利用者から金銭を預かる場合、具体的な管理方法を規定し家族に収支を報告するなど、利用者の金銭管理についての具体的な取組がある</p> <p>介護職員の言葉使いや私物の取扱い、居室への出入りなど利用者の気持ちや尊厳に配慮した対応を行うための具体的な取組がある</p> <p>居室やトイレなどの表示をわかりやすくする工夫、季節や時間を理解しやすくする工夫など、認知症の利用者が不穏にならないような具体的な取組がある</p> <p>利用者の服薬管理を適切に行うための具体的な取組がある</p> <p>炊事、洗濯、清掃等を可能な限り利用者と職員が共同で行うための具体的な取組がある</p>	
		個別ケアの実施	利用者が居室にこもることなく、できる限り離床して生活を送るための支援を行う具体的な取組がある	
			個浴の実施など、利用者の意向に応じた入浴機会を提供する	
			利用者の生活習慣を尊重した食事提供、又は利用者の身体状況、嚥下や歯の状態を考慮した食事介助をする	
			摂食・嚥下機能の維持・向上に配慮した口腔ケアを行う具体的な取組がある	
			プライバシーへの配慮や自立を促す排せつ介護などの具体的な取組がある	
			利用者一人一人の嗜好を把握し、それに応じた趣味、教養又は娯楽に係る活動の機会の提供や、クラブ活動を支援する	
		中重度利用者への処遇	医療面・介護面での中重度利用者への対応について具体的な取組がある	
			看取りに関する指針を作成した上で、看取り介護について具体的な取組がある	
			事業開始時に「看取り介護加算」が算定できる体制を整備する	
			ACPの実践のほか、看取りに向けた多職種連携の充実を図っていくための具体的な取組がある	
			機能訓練において独自の取組がある	
		新しい技術等を生かした処遇	介護用ロボットや介護用リフトなど新しい機器を導入する	
			新しいICT(情報)技術を導入する	
			食事加工技術など利用者の快適性に資する新しい技術を導入する	
		認知症への対応と医療との連携	認知症への対応と医療との連携について具体的な取組がある	
			事業開始時に「認知症専門ケア加算」が算定できる体制を整備する	
			事業開始時に「若年性認知症利用者受入加算」が算定できる体制を整備する	
			事業開始時に「医療連携体制加算」が算定できる体制を整備する	
事業開始時に「利用者の入院期間中の体制」が算定できる体制を整備する				
「生活機能向上連携加算」を算定する予定としている				
食費・光熱水費等の価格設定等	1日当たりの食費の額が妥当である			
	1日当たりの光熱水費の額が妥当である			
	1日当たりの宿泊費の額が妥当である			
	敷金等の前払金がない			
経営の安定性	法人経営の安定性	法人経営の安定性	<p>決算期を3期以上経た法人である</p> <p>3年連続で営業利益を出している</p> <p>直近の会計年度において、流動資産が流動負債を上回っている</p> <p>直近の会計年度において、債務超過となっていない</p>	
		事業所の所有関係	<p>土地 事業所開設予定地は自己所有か(見込も含む。)、又は賃借の場合は契約期間が30年以上ある</p> <p>建物 事業所建物は自己所有か(見込も含む。)、又は賃借の場合は契約期間が30年以上ある</p>	
		開設予定地	道路・交通	<p>道路状況 敷地の2面が道路に面しているか、又は1面でも対面通行可能(事業所から車が直接出入りできる道路であること)</p> <p>無理なく離合可能な幅員(6m以上)を有する道路から出入り可能</p> <p>公共交通機関 公共交通機関の駅やバス停まで近い(道のりで500m以内)</p> <p>平日の昼間において公共交通機関の運行がある(1時間に1本以上)</p>
			周辺状況	<p>環境 市街化区域に整備する</p> <p>閑静な場所</p> <p>地域との交流 保育園、幼稚園、学校と近接し(道のりで500m以内)利用者や地域の交流が可能な場所</p> <p>生活の場 商業施設、文化施設、娯楽施設等と近接し(道のりで500m以内)外出の機会を促進する生活環境</p> <p>平地にあり、徒歩又は車いすによる外出の機会を促進する生活環境</p>
面積・日照等	余裕のある敷地	建ぺい率60%以内の建設である		
	日照	南側が斜面や高層建築物等で遮られていない		
	風通し	斜面や高層建築物等で遮られていない		
整備建物	建物の特質	周辺への影響	<p>事業所の建物について、周辺に日陰・風通しの問題が生ずるおそれがない</p> <p>周囲の景観と融合する外観等を備えている</p>	
		建物の構造	<p>耐火構造又は準耐火構造である</p> <p>平屋建てである</p> <p>ユニットが2階以下に配置されている</p>	
		使用素材	<p>広島県産の木材を使用する</p> <p>建物周辺の舗装等に濡れても滑りにくい材料を使用するなど、歩行の安全や車いす等の利用に配慮した素材を使用する(具体的な素材を記載)</p> <p>転倒防止、転倒時の衝撃緩和や職員の身体負担軽減に配慮した床材を使用する(具体的な素材を記載)</p>	
	安全・健康面等への配慮	基本方針及び独自の取組	利用者の安全対策・設備における利用者の健康面への配慮に関して適切な基本方針が設定され、その基本方針に基づいた独自の取組がある	
		避難経路	1階に段差を越えることなく屋外の安全な場所に避難できる経路が2か所以上ある	
			居間及び食堂の窓が掃き出し窓となっており、直接屋外へ避難できる	
			幅員が150cm以上の避難経路が確保されている	
			消防法その他の法令等の基準に基づく非常用照明等に加え、避難の安全の確保に対する取組がある	

	安全面	利用者の動線や動作に応じた手すりを設置している
		玄関に、靴を脱ぐ際の腰掛ベンチを設置している
		駐車場又は敷地出入口から玄関までの動線について、段差の解消が図られている
		駐車場又は敷地出入口から玄関までの動線について、有効幅員が120cm以上確保されている
		長時間の停電に対応した照明設備等を整備する
	健康への配慮	室温確保のための対策を講じている
		建築基準法の規定を上回るシックハウス対策(建築部材・家具・換気など)を講じている
	衛生管理	衛生管理に配慮した建物整備を行っている
		感染症対策のため、玄関に手洗い場を設置している
	ユニット	基本方針及び独自の取組
ユニット		居間及び食堂と居室が別の階にあるなど、ユニットがフロアで分断されていない
		採光、照明、通風、景観など、利用者が快適に過ごせるような環境づくりを行っている
		利用者の状態に合うイスやテーブルを用意するなど、食事をおいしく食べられる環境づくりを行っている
		居室は居間及び食堂に近接して一体的に配置されている
居室		基準面積の1.3倍以上
		不整形な居室がない
	ベッド等の配置方法が複数選択できる奥行さと幅がある	
	歩行が困難であったり車いすを使用する利用者が安全に支障なく移動できるよう工夫がある	
	居室内での転倒や転落を防止するための取組がある	
ユニット出入口	木目調や暖かみを感じる素材を使用するなどして玄関らしい設えとなっている	
記録スペース	個人情報保護に配慮した介護記録等の記録スペースを設けている(ユニット内の事務室は除く)	
水回り空間	基本方針及び独自の取組	水回り空間に関して、利用者のプライバシーへの配慮や自立を促す設備等の基本方針が設定され、その基本方針に基づく独自の取組がある
	トイレ設備	トイレをユニットに2か所以上に分散して設置している
		トイレの清掃・臭い対策を講じている
		車いす用トイレを設置している
		左右どちらの半身に障害がある利用者も使いやすい工夫がある
		立ち座りや姿勢の維持を容易にすることで、排泄の自立をサポートするための工夫がある
		プライバシーや羞恥心に配慮した設備の工夫を行っている
		簡易シャワーや洗浄器(汚物流し)を設置している
	浴室	ユニットごとに設置している
		個別浴槽が2方向以上の介助に対応した配置になっている
利用者の入りやすさを重視した浴槽を選択している		
	ペアガラスの設置、暖房機器の設置など、ヒートショック対策が講じられている	
	プライバシーや羞恥心に配慮した設備の工夫を行っている	

【重要】計画を実行するための具体的な取組内容を記載してください。